

英語	英語 A
----	------

《履修上の留意事項》・当該授業は、15回のうち、14回は学科別に、1回は3学科合同で開講する。
・学科の人数によって、2クラスに分かれて開講する。

《担当者名》理学療法学科：○松本由起子 yuki-m@hoku-iryu-u.ac.jp 白鳥亜矢子
作業療法学科：○白鳥亜矢子 a-shiratori@hoku-iryu-u.ac.jp
言語聴覚療法学科：○松本由起子 yuki-m@hoku-iryu-u.ac.jp 竹内康二
特別講師：槌賀信基 中野大輔 宮間泉

【概要】

これまでに養ってきた英語の読解力・聴解力を伸ばし、医療職に就くことを前提に、どのように英語とつきあっていくことができるか考える。

【学修目標】

【行動目標】

1. 指定された基本語彙・表現をリプロデュースできる。
2. 発声された英語を聞き、その概要や音の連結を聞き取ることができる。
3. 英語の文章を読むために必要な読解ストラテジーを説明することができる。
4. 比較的複雑な構文を含むある程度の長さの英文を、書かれている内容の主題と照らしながら、ゆっくり正確に読み進めていくことができる(=精読)。

【一般目標】

外国語を使って、異なる言語・社会・文化の認識や理解を深めることができる。
将来、医療にかかわるという前提で、どういう英語の学び方・使い方があがるかわかる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	導入	講義の概要説明・リンガポルタの説明・アンケート等	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
2	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》1.時と動詞(1) be 動詞・一般動詞 ・《教科書: New Reading & Writing Power》 Antioxidants in Citrus May Fight Obesity-Related Diseases (1)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
3	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》2.時と動詞(2) 進行形 ・《教科書: New Reading & Writing Power》 Antioxidants in Citrus May Fight Obesity-Related Diseases (1)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
4	特別講義 PT/OT/医療通訳である特別講師と英語での業務経験をもつ担当教員によるシンポジウム・デモンストレーションとグループワーク	医療現場での英語使用実態の共有 - 「こういう勉強をこのぐらいしてこうなった」 - 「このぐらい話せたらこういうことができる」 - 失敗談や困ったエピソード - 英語がキャリアに影響した/しなかったポイント - 医療通訳のデモンストレーション などを通して、 - 「どういった英語との付き合い方があるか」 - 「どういった学習方法があるか」 を考える。	槌賀信基(理学療法士) 中野大輔(作業療法士) 宮間泉(医療通訳・翻訳) 松本由起子 白鳥亜矢子
5	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》3.時と動詞(3) 完了形 ・《教科書: New Reading & Writing Power》 Antioxidants in Citrus May Fight Obesity-Related Diseases (2)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
6	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》4.文型(1)第1文型、第2文型、第3文型 ・《教科書: New Reading & Writing Power》	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		Antioxidants in Citrus May Fight Obesity-Related Diseases (2)	
7	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》5.文型(2)第4 文型、第5 文型 ・《教科書: New Reading & Writing Power》 Antioxidants in Citrus May Fight Obesity-Related Diseases (3)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
8	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》6.否定文・疑問文 ・《教科書: New Reading & Writing Power》 Antioxidants in Citrus May Fight Obesity-Related Diseases (3)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
9	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》7.動名詞 ・《教科書: New Reading & Writing Power》Average Weight of American Men UP 7 kilos Over 20 Years (1)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
10	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》8.不定詞 ・《教科書: New Reading & Writing Power》Average Weight of American Men UP 7 kilos Over 20 Years (1)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
11	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》9.助動詞 ・《教科書: New Reading & Writing Power》Average Weight of American Men UP 7 kilos Over 20 Years (2)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
12	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》10.受動態 ・《教科書: New Reading & Writing Power》Average Weight of American Men UP 7 kilos Over 20 Years (2)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
13	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》11.比較(原級、比 較級、最上級) ・《教科書: New Reading & Writing Power》Average Weight of American Men UP 7 kilos Over 20 Years (3)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
14	多読による読解力、 多聴による聴解力養成	・《教科書: English Motivator》12.分詞 ・《教科書: New Reading & Writing Power》Average Weight of American Men UP 7 kilos Over 20 Years (3)	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二
15	多読による読解力、 多聴による聴解力養成 まとめ	・《教科書: English Motivator》13.関係詞 講義の復習とまとめ 定期試験の内容・配点告知	松本由起子 白鳥亜矢子 竹内康二

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

平常点 20%、リンガポルタ 20%、定期テスト 60%

【教科書】

足利俊彦 他 著 「English Motivator」 成美堂 2016年

塚越博史 他 著 「New Reading & Writing Power: Improving your English Skills Through Health and Lifestyle News」

郁文堂 2016年

【備考】

適宜プリントを配布する。

【学修の準備】

予習：各回の講義終了時に指示される次回該当箇所について、辞書等で語彙・語法を調べ、英文の概要を把握しておくこと。(45分)

復習：小テスト(グレクサ、紙媒体)が適宜実施されるので、毎回の講義内容についてテキスト記載の練習問題を解き、正解を確認し、誤答箇所を何度も繰り返し練習しておくこと。(45分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

(DP1) 生命の尊重と個人の尊厳を基盤とした幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観を持ち、優れたコミュニケーション能力を身につけている。

(DP4) リハビリテーション専門職として、地域および国際的な視野でリハビリテーションの発展に貢献する能力を身につけている。

【実務経験】

松本由起子：カウンセラー、心理テスター、通訳・翻訳

白鳥亜矢子：クルーズ船 Guest relations(在豪)

(特別講師)

槌賀信基：理学療法士、中野大輔：作業療法士、宮間泉：医療通訳・翻訳、日本語教師

【実務経験を活かした教育内容】

- 理学療法士、作業療法士、医療通訳/翻訳者を特別講師として招き、現場や研究における、英語をはじめとする外国語をめぐる状況や展開を伝える
- 通訳・翻訳経験から、通訳者が使う英語学習法や翻訳者が使うリサーチ技術などを紹介する
- オーストラリアでのホスピタリティ業界における実務経験から、日豪の労働観・環境の違いについて、必要とされる英語能力について紹介する